

ザンゴ礁パネルシアター 学習指導要領との対応		
学年	教科	学習内容
小学校1/2年	図画工作	B鑑賞 (1)鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。
小学校3/4年	図画工作	B鑑賞 (1)鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。
小学校5/6年	図画工作	B鑑賞 (1)鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。
小学校1/2年	国語	A話すこと・聞くこと (1)話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。
小学校3/4年	国語	A話すこと・聞くこと (1)話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉え、自分の考えをもつこと。
小学校5/6年	国語	A話すこと・聞くこと (1)話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。
小学校3年	理科	B生命・地球 (1)身の回りの生物 身の回りの生物について、探したり育てたりする中で、それらの様子や周辺の環境、成長の過程や体のつくりに着目して、それらを比較しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア)生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあること。また、周辺の環境と関わって生きていること。 イ身の回りの生物の様子について追究する中で、差異点や共通点を基に、身の回りの生物と環境との関わり、昆虫や植物の成長のきまりや体のつくりについての問題を見だし、表現すること。
小学校5年	理科	B生命・地球 (2)動物の誕生 動物の発生や成長について、魚を育てたり人の発生についての資料を活用したりする中で、卵や胎児の様子に着目して、時間の経過と関係付けて調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア)魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえること。 イ動物の発生や成長について追究する中で、動物の発生や成長の様子と経過についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。
小学校6年	理科	B生命・地球 (3)生物と環境 生物と環境について、動物や植物の生活を観察したり資料を活用したりする中で、生物と環境との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア)生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること。 (イ)生物の間には、食う食われるという関係があること。 (ウ)人は、環境と関わり、工夫して生活していること。 イ生物と環境について追究する中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。
中学校	理科(第2分野)	(1)いろいろな生物とその共通点 身近な生物についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 アいろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア)生物の観察と分類の仕方 ⑦生物の観察 家庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物が様々な場所で生活していることを見いだして理解するとともに、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付けること。 ⑧生物の特徴と分類の仕方 いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身に付けること。 (イ)生物の体の共通点と相違点 ①動物の体の共通点と相違点 身近な動物の外部形態の観察を行い、その観察記録などに基づいて、共通点や相違点があることを見いだして、動物の体の基本的なつくりを理解すること。また、その共通点や相違点に基づいて動物が分類できることを見いだして理解すること。 イ身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現すること。
中学校	理科(第2分野)	(7)自然と人間 自然環境を調べる観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、自然環境を調べる観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア)生物と環境 ⑦自然界のつり合い 微生物の働きを調べ、植物、動物及び微生物を栄養の面から相互に関連付けて理解するとともに、自然界では、これらの生物がつり合いを保って生活していることを見いだして理解すること。 ⑧自然環境の調査と環境保全 身近な自然環境について調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、自然環境を保全することの重要性を認識すること。 イ身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断すること。
小・中学校	総合的な学習の時間	